

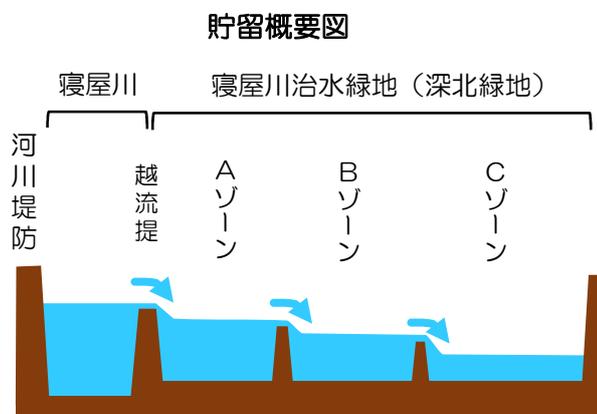
【寝屋川治水緑地（深北緑地）について】

- 寝屋川治水緑地（深北緑地）は、大阪府が整備し平成4年3月に完成した大東市深野北と寝屋川市河北地内にまたがる面積50.3haの施設です。
- 平常時には公園として利用し、大雨で河川が増水した際は河川の水を計画的に一時貯留して下流河川への影響を低減し、洪水による街の被害を防ぐ施設です。
- 大雨によって寝屋川が増水して水位が上昇すると、河川の堤防が一部低くなった部分をから治水緑地内に自然に流入させることで一時的に貯留するものです。
- 洪水のピークが過ぎ、河川の安全が確認されると排水門から河川へ自然排水させます。

寝屋川治水緑地（深北緑地）



※大阪府HPより



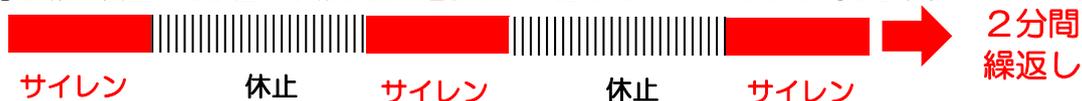
施設概要

ゾーン	合計	Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン
貯留面積(ha)	50.3	16.0	17.0	17.3
貯留量(m ³)	146万	42.5万	51.3万	52.2万

※大雨など増水時のお知らせについて

○寝屋川治水緑地をご利用されている皆さまの安全を確保するため、大阪府では予警報施設を設置しており、寝屋川が増水により治水緑地に河川の水が流入する可能性が生じた際には、サイレンでお知らせしています。

①予報 寝屋川の水位が予報水位に達すると下記のとおりサイレンが鳴ります。



②警報 寝屋川の水が越流水位に達すると下記のとおりサイレンが鳴ります。



詳しくは大阪府HPへ <大阪府寝屋川水系改修工営所>
www.pref.osaka.lg.jp/ne/sougoutisui/neyagawa.html